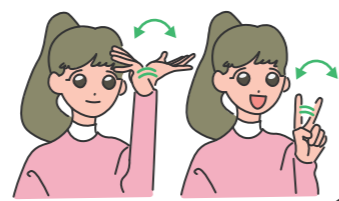


手話で話しかけてみよう

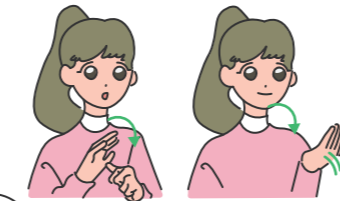
何かおこまりですか？

「こまる」 「なに？」



お手つだいしましょうか？

「たすける」 「～ですか？」



1 2
3 4

ありがとう

「かんしゃ・おかげ」



どうしたしまして

「どういたしまして」



マークやサインを覚えよう



・サポートマーク
手助けを必要としていることを伝えるマークです。見た目には障がいわかりにくい人もいます。このマークを見かけたら、声をかけてみましょう。



・耳マーク
耳が不自由なことを伝えるマークです。少し大きめの声でゆっくり話しかけたり、筆談（文字を書いて会話する）で話しかけてみましょう。



・白杖 SOS シグナル
目が不自由な人が、まい子になった時などに、助けを求めているサインです。このサインを出している人を見かけたら、駆け寄って、声をかけましょう。

ほじょ犬を知ろう

「ほじょ犬」は、目や耳、からだが不自由な人を助けるために、とくべつなくん練をした犬です。まちで見かける「ほじょ犬」は仕事です。さわったり、話しかけたり、食べ物をあげたりしないようにしましょう。



・ちょうどう犬 ・もうどう犬 ・かいじょ犬

「あいサポーター」になるために

「あいサポーター」に大切なことは、社会にはさまざまな障がいのために、こまっている人がいることを「知る」ことです。そして、その人が、何にこまっているのか、どんな気持ちなのかを知りましょう。「知る」ことで、自分にできるお手つだいが、きっと見つかります。

「あいサポート」のシンボルマーク

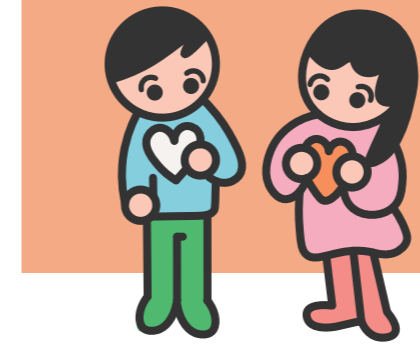
「あいサポート」のマークは、英語で「ささえる人」を意味する supporter の「S」と、「心」を意味する「ハート」を表しています。こまっている人とささえる人、2つの心が重なっているのです。だいたい色は、温かい気持ちを表しています。このマークは、「わたしたちはあいサポーターです」という目印になります。



山口県

あいサポーターキッズ

ハンドブック



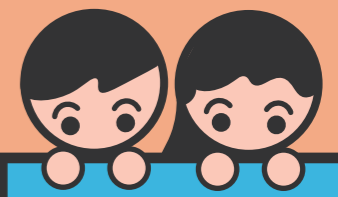
「あいサポート運動」とは

「あいサポート運動」とは、だれもがくらしやすい社会を、みんなで作っていく運動です。社会の中には、いろいろな人がいます。たとえば、目の見えない人、耳が聞こえない人、車いすを使っている人…。その人たちがこまっているところを見かけたら、自分から声をかけて、自分にできるお手つだいを申し出してみましょう。

そのような、ちょっとした手助けをする人を、「あいサポーター」と呼びます。「あいサポーター」の輪を、みんなで広げていきましょう。

まどから見える町は
だれもがすごしやすい
社会でしょうか？

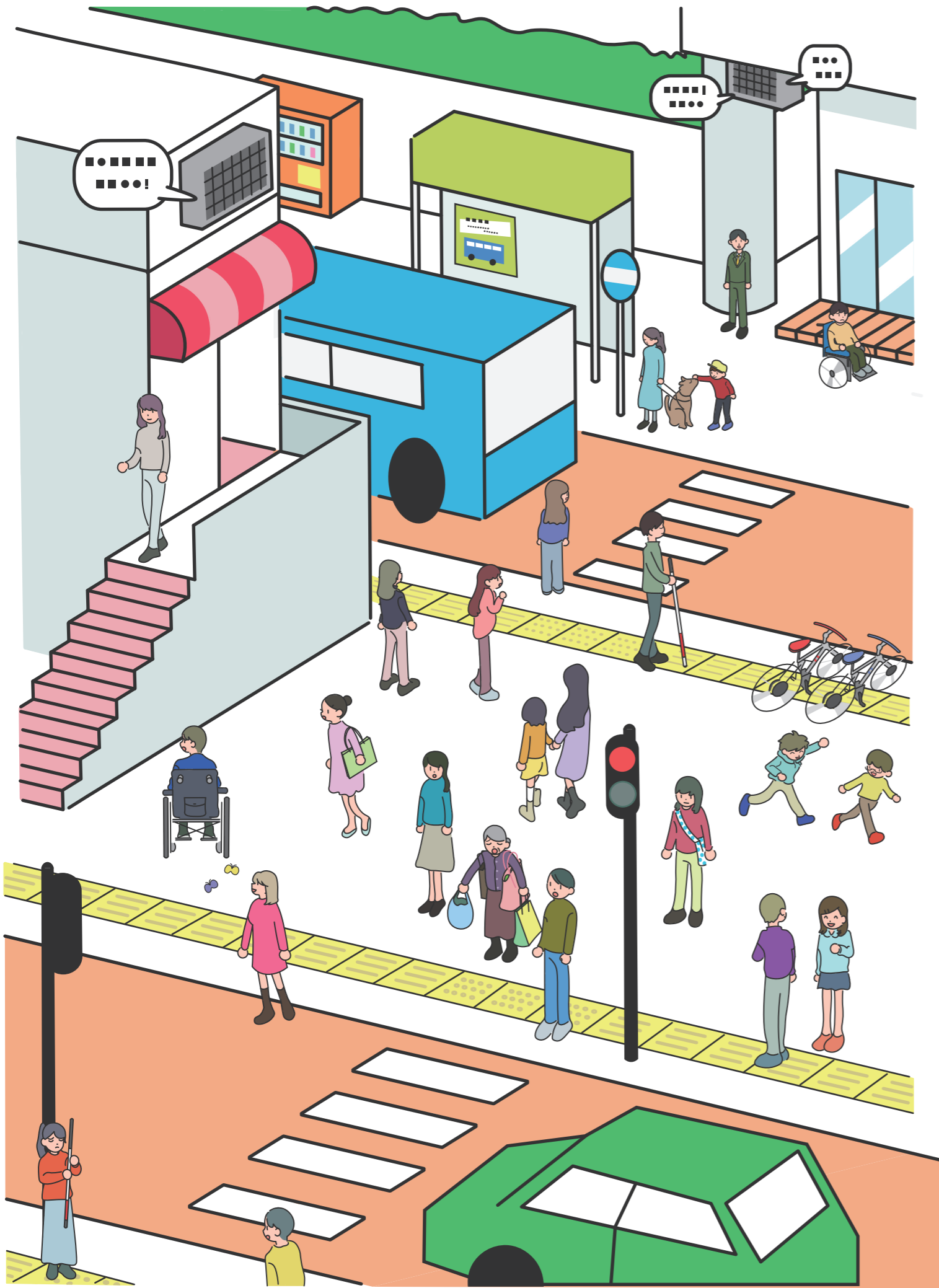
のぞいてみよう！



「あいサポート」という名前

「あいサポート」の「あい」は、愛情の「愛」、英語で「私」を意味する「I」、支え合いの「あい」という3つの意味がこめられています。「サポート」は、英語で「支える、おうえんする」という意味を持ちます。障がいのある人をやさしく支え、自分の意志で行動することが、「あいサポート」がめざすものです。

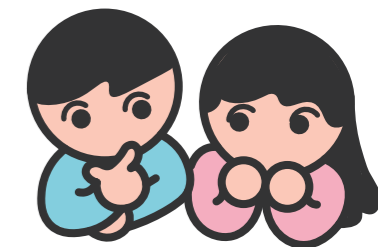
1 まずは、あなたのまわりにいるかもしれない、「こまっている人」に気づきましょう。



2 こまっている人を見かけたら、ゆうきを出して、自分から声をかけてみましょう。



あなたなら
どんなふう
に声をかけますか？



3 相手の気持ちを聞いて、自分でできるお手つだい（ちょっとした手助け）を申し出てみましょう。

